

「第44回新春体力づくり
歩け歩け大会について」
雨倉寿久（武蔵野小地区・3期目）

平成26年の初日は元旦にふさわしい好転に恵まれ、「第44回新春体力づくり歩け歩け大会」が昭島市体育協会主催で行われました。

午前11時30分ごろから徐々に参加者が昭和公園自由広場に集まりました。参加者は450人で、60歳代から70歳代の方々や、中には小学生らしい子どもを連れた家族も見受けられました。

菊本体育協会会長の挨拶が始まり、続いて北川市長が挨拶し、昨年のスポーツ祭東京2013のことや2020年の東京オリンピックについて話をしました。その後、昭島市スポーツ推進委員のリードにより「昭島体操」を行い、出発しました。元旦ということもあり、多くの参加者は、新年の希望に満ちた明るい顔に見えました。

まずは中継点のあいぽっくを目指し、江戸街道沿いに歩道を一列に並んで歩きました。

交差点では、体育協会の役員が参加者の安全のため交通整理をしてくれました。列は長くなってしまいましたが、全員があいぽっくに到着しました。あいぽっくでは、参加者全員に年賀タオルや飲み物が配られ、ひと息入れていました。



10分ほどの休憩後、スポーツ推進委員から「歩け歩けシール」をもらい、ゴールの拝島第一小学校に向け出発です。ここから歩く速度は少し落ち始め、列はさらに長くなりました。みんな自分のペースでゴールを目指していました。

拝島第一小学校では、体育協会の方々がお神酒やおつまみを

机の上に並べ、全員の到着を待っていました。正午をだいぶ過ぎた頃、最後の参加者が到着しました。

全員の到着を確認して、木戸教育長が「皆さんお疲れ様でした。良い汗をかけたことと思います。」とあいさつし、続いて拝島第一小学校の濱野校長が新年にふさわしい話で締めくくり、「第44回新春体力づくり歩け歩け大会」を終了しました。

「昭島市民綱引き大会」
小峰 隆（共成小地区・6期目）

平成26年3月9日、昭島市総合スポーツセンターにおいて、市民の体力及び健康増進への意識の高揚を図るとともに、スポーツの振興、地域の交流・地域の活性化を図ることをねらいとして、「昭島市民綱引き大会」が実施されました。この綱引き大会は、市制50周年の「自治会ブロック対抗綱引き大会」から数えると、今回で10回目を迎えることとなります。

参加団体の減少する中、今回から小学生の部を設け、玉川小

の6年生3チームが参加し、一般6チーム、スポレク・女子の各2チームの合計13チームで熱戦が繰り広げられました。

一般、小学生、スポレク+女子の部で予選リーグを行い、その後、決勝トーナメントで順位を決定いたしました。

午前中の短時間ではありましたが、大会が進むにつれ、綱の引き方やチームの一体感が盛り上がり、この大会の目的は達成されたように思いました。

